学校番号	1008

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	論理・表現Ⅰ	2	1	be English Logic and Expression Ⅰ Clear Workbook 総合英語 be 5th

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業での言語活動を通して情報や考えなどを，場面や目的に応じて英語で話したり、書いたりする能力を更に伸ばすとともに，この能力を活用して主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につける。生徒においては、間違えを恐れず、積極的に活動に参加する態度が重要となる。

２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第１学年】

域領	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標			①基本的な表現を使って、道案内などの指示をすることができる。 ②身近なトピックについて、イラストやアイテムを補助的に用いて、簡単な語句や表現を用いて意見交換をすることができる。	①絵、写真などの視覚的補助を利用しながら、簡単な語句や文を使い、身近な話題について要点をまとめ、話をすることができる。 ②簡単な語句や文を使い、趣味や特技に触れながら、自己紹介をすることができる。	①日常的な内容であれば、招待状、メモ、メッセージなどを簡単な英語で書くことができる。 ②簡単な語句や基礎的な表現を使いながら、and, but, because などで文と文をつないで、日記や説明文など、まとまりのある文章を書くことができる。

３ 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	コミュニケーション活動を通して獲得する知識及び技能の習得状況について，評価規準を用いて形成的評価をするとともに，それらを概念等として理解したり，技能を習得したりしているかについて評価する。	コミュニケーションを行う目的・場面・状況等に応じて，慣れ親しんだ語句や表現を使って，話される内容を理解したり，自分の考えや気持ちを表現したりしているかどうかを評価する。	自分の考えや気持ちを伝え合うことの楽しさや言葉の大切さを実感しながら粘り強く学習に取り組み，問題解決の過程を振り返って改善しようとする態度を身につけているか，自ら英語を使ってコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけているかを評価する。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	L1 Meeting People L2 Holidays and Weekends L3Making Plans L4 Travel L5 Study and Activities	話すこと (やり取り)	a. 自分のことや身の回りの出来事，予定，経験などについて，目的に応じて現在形・過去形・未来表現・完了形などを適切に使い分け，ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。 b. 自分のことや身の回りの出来事，予定，経験などについて，内容を整理して分かりやすく伝え合うことができる。 c. 自分のことや身の回りの出来事，予定，経験などについて，自ら進んで筋道を立てて伝えようとし，自分の発話を振り返って改善しようとする姿勢がみられる。	a: 定期考査テスト b: 定期考査・パフォーマンス課題 c: パフォーマンス課題・ポートフォリオ
		話すこと (発表)	a. 自分や身近な人のこと，過去の経験や今後の計画などについて，目的に応じて時制を使い分け，筋道を立ててほぼ正しい英語で話すことができる。 b. 自分や身近な人の過去・現在・未来に関する情報や計画、行きたい国・都市について、筋道を立てて英語で話すことができる。 c. 過去のことや身近な人のこと、留学先での計画、学年末の状況、行きたい国や都市について、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとし、発話を振り返って改善点を見出す姿勢がある。	a: 定期考査テスト b: 定期考査・パフォーマンス課題 c: パフォーマンス課題・ポートフォリオ
		書くこと	a. 自分や身近な人の習慣、週末の出来事、休日の予定、旅行や達成した経験などについて、現在形・現在進行形、過去形・過去進行形、未来形、現在完了形、過去完了形を適切に用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる b 自分や身近な人の習慣、週末の出来事、留学先での計画、学年末の状況、行きたい国や都市について、筋道を立てて詳しく英語で書いたり話したりすることができる。 c. 自分や身近な人の習慣、週末や休日の出来事・予定、旅行や達成した経験などについて、動詞の現在形や現在進行形を用いて、筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられ、ほぼ正しい英語で表現できる。また、自分の書いた内容を振り返り、改善点を見出すことができる	a 定期考査テスト b. 定期考査・パフォーマンス課題 c. パフォーマンス課題・ポートフォリオ
	中間考査			
	L6 Food Culture L7 School Life L8 Daily Life L9 Transportation Issues	話すこと (やり取り)	a. 学習者は、助動詞や受動態を適切に使って、許可や義務、意志・推量、交通の安全などについてほぼ正しい英語で伝え合うことができる。 b. 学習者は、許可の有無や予定、友だちを誘うイベント、交通の安全などについて、筋道を立てて詳しくほぼ正しい英語で伝え合うことができる。 c. 学習者は、許可の有無や予定、友だちを誘うイベント、交通の安全などについて、自ら進んで筋道を立てて伝え合い、自分の発話を振り返って改善点を見出す姿勢がみられる。	a: 定期考査テスト b: 定期考査･パフォーマンス課題 c: パフォーマンス課題･ポートフォリオ
		話すこと (発表)	a. 食事の習慣やマナーについて，可能や許可などを表す助動詞の表現、学校の規則について，義務や確信などを表す助動詞の表現、小・中学生のころよくしたことについて，意志や推量などを表す助動詞の表現、交通上の安全について，感情を表す受動態を適切に用いて，ほぼ正しい英語で話すことができる。 b. 食事の習慣やマナーや学校の規則，小・中学生のころよくしたこと，交通上の安全についての情報や，危険に思うことや改善したいことを，筋道を立てて詳しく話すことができる。 c. 食事の習慣やマナーのことについての情報、学校の規則のことについての情報、小・中学生のころよくしたことのことについての情報や交通上の安全について，危険に思うことや改善したいことを，自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また，自分の発話を振り返り，改善点を見出している。	a: 定期考査テスト b: 定期考査･パフォーマンス課題 c: パフォーマンス課題･ポートフォリオ
		書くこと	a. 日本の習慣やマナーについて可能や許可などを表す助動詞や学校の規則について義務や確信などを表す助動詞やイベント企画について意志や推量などを表す助動詞や交通の改善のための文章を，受動態を用いて，ほぼ正しい英語で書くことができる。 b. 日本の習慣やマナーについての情報や学校の規則についての情報やイベント企画についての情報や交通の改善についての情報を，筋道を立てて詳しく書くことができる。 c. 日本の習慣やマナーについての情報や学校の規則についての情報やイベント企画についての情報や交通の改善についての情報を，自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また，自分の書いたものを振り返り，改善点を見出している。	a 定期考査テスト b. 定期考査・パフォーマンス課題 c. パフォーマンス課題・ポートフォリオ
	期末考査			

2	スピーチをしてみよう！ L10 Future Activities L11 Staying Healthy L12 New Products L13 Hobbies and Interests	話すこと（やり取り）	a. 将来の夢について，不定詞の名詞用法、具合の悪くなった友だちへのアドバイスについて，不定詞の形容詞用法、電化製品を買いに行くことについて，使役動詞・知覚動詞など友人に「何かしていない」ことを謝る状況について，動名詞などを適切に用いて，ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。 b. 将来の夢について，具合の悪くなった友だちへのアドバイスについて，電化製品を買いに行くことについて，友人に「何かしていない」ことを謝る状況について，筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。 c. 将来の夢について，具合の悪くなった友だちへのアドバイスについて，電化製品を買いに行くことについて，友人に「何かしていない」ことを謝る状況について，自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また，自分の発話を振り返り，改善点を見出している	a: 定期考査テスト b: 定期考査･パフォーマンス課題 c: パフォーマンス課題･ポートフォリオ
		話すこと（発表）	a. 自分が将来してみたいことについて、不定詞の名詞用法の表現、校内放送で病気予防のよびかけをする状況で、不定詞の副詞用法の表現、便利な電化製品について、使役動詞・知覚動詞などの表現、趣味や興味について、動名詞の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。 b. 自分が将来してみたいことについての情報、校内放送で病気予防のよびかけをする状況で，目的や原因についての情報、便利な電化製品についての情報、趣味や興味についての情報を，筋道を立てて詳しく話すことができる。 c. 自分が将来してみたいことについての情報、校内放送で病気予防のよびかけをする状況で，目的や原因についての情報、便利な電化製品についての情報、趣味や興味についての情報、与えられた状況のことについての情報を，自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また，自分の発話を振り返り，改善点を見出している。	a: 定期考査テスト b: 定期考査･パフォーマンス課題 c: パフォーマンス課題･ポートフォリオ
		書くこと	a. ボランティア募集について不定詞の名詞用法を用いたり，病気予防の呼びかけについて不定詞の形容詞用法を用いて製品の広告文について使役動詞・知覚動詞などを用いたり，趣味や夢中になっていることについて動名詞を用たり，自然を楽しめる場所のレビューについて分詞を用いて，ほぼ正しい英語で書くことができる。 b. ボランティア募集についての情報、病気予防の呼びかけについての情報、製品の広告文についての情報、趣味や夢中になっていることについての情報を，筋道を立てて詳しく書くことができる。 c. ボランティア募集についての情報、病気予防の呼びかけについての情報、製品の広告文についての情報、趣味や夢中になっていることについての情報を，自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また，自分の書いたものを振り返り，改善点を見出している。	a 定期考査テスト b. 定期考査・パフォーマンス課題 c. パフォーマンス課題・ポートフォリオ
	中間考査			
	L14 The World of Nature L15 Trouble and Accidents パラグラフを書いてみよう！ L16 Inventions L17 Cities and Towns	話すこと（やり取り）	a. 旅先のレビューについて，分詞などやニュース記事の内容について，分詞構文などや尊敬する人やお勧めの便利な発明品について，関係代名詞などを適切に用いて，ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。 b. 旅先のレビューについて，筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。ニュース記事の内容について，筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。 c. 旅先のレビューについてやニュース記事の内容について尊敬する人やお勧めの便利な発明品についてや記憶にはっきりと残っている日について，自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また，自分の発話を振り返り，改善点を見出している	a: 定期考査テスト b: 定期考査･パフォーマンス課題 c: パフォーマンス課題･ポートフォリオ
		話すこと（発表）	a. 与えられた状況について，分詞の表現や与えられた状況について，分詞構文などの表現や偉人や発明品について，関係代名詞の表現を適切に用いて，ほぼ正しい英語で話すことができる。 b. 与えられた状況についての情報や偉人や発明品についての情報や都市や町の名所についての情報や都市や町の名所についての情報を，筋道を立てて詳しく話すことができる。 c. 与えられた状況のことについての情報や与えられた状況のことについての情報や人や発明品についての情報や都市や町の名所についての情報を，自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また，自分の発話を振り返り，改善点を見出している。	a 定期考査テスト b. 定期考査・パフォーマンス課題 c. パフォーマンス課題・ポートフォリオ

		書くこと	a. 自然を楽しめる場所のレビューについて分詞や最近のニュースや自分に起きた出来事について分詞構文などや発明品とその機能について関係代名詞を用いて，ほぼ正しい英語で書くことができる。 b. 自然を楽しめる場所のレビューについての情報や最近のニュースや自分に起きた出来事についての情報や都市や町の魅力についての情報や発明品とその機能についての情報を，筋道を立てて詳しく書くことができる。 c. 自然を楽しめる場所のレビューについての情報や最近のニュースや自分に起きた出来事についての情報発明品とその機能についての情報や都市や町の魅力についての情報を，自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また，自分の書いたものを振り返り，改善点を見出している。	a: 定期考査テスト b: 定期考査･パフォーマンス課題 c: パフォーマンス課題･ポートフォリオ
	期末考査			
3	ディベートをしてみよう！ L18 Living Environment L19 Social Problems プレゼンテーションをしてみよう！ L20 Making a Wish ディスカッションをしてみよう!	話すこと（やり取り）	a. 都会と地方の比較について，比較表現などを適切に用いて、スマートフォンとのつきあい方について，最上級などを適切に用いて、自分がなりたい職業について，仮定法などを適切に用いて，ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。 b. 都会と地方の比較について、スマートフォンとのつきあい方について、自分がなりたい職業について，筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。 c. 都会と地方の比較について、スマートフォンとのつきあい方について、自分がなりたい職業について，自ら進んで筋道を立てて伝え合おうとする姿勢がみられる。また，自分の発話を振り返り，改善点を見出している	a: 定期考査テスト b: 定期考査･パフォーマンス課題 c: パフォーマンス課題･ポートフォリオ
		話すこと（発表）	a. 自分の家や町とほかの比較について，比較表現の表現を適切に用いて、身近な社会問題について，最上級の表現を適切に用いて、現在や過去のことについての願望について，仮定法の表現を適切に用いて，ほぼ正しい英語で話すことができる。 b. 自分の家や町とほかの比較についての情報を、身近な社会問題についての情報を、現在や過去のことについての願望についての情報を，筋道を立てて詳しく話すことができる。 c. 自分の家や町とほかの比較のことについての情報、身近な社会問題のことについての情報、。現在や過去のことについての願望についての情報を，自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また，自分の発話を振り返り，改善点を見出している。	a 定期考査テスト b. 定期考査・パフォーマンス課題 c. パフォーマンス課題･ポートフォリオ
		書くこと	a. 都会と地方のどちらがよいかについて比較表現を用いて、社会問題への考えや解決策について最上級を用いて、今年度の反省点と来年度の抱負について仮定法を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。 b. 都会と地方のどちらがよいかについての情報を、社会問題への考えや解決策についての情報を、今年度の反省点と来年度の抱負についての情報を，筋道を立てて詳しく書くことができる。 c. 都会と地方のどちらがよいかについての情報、社会問題への考えや解決策についての情報、今年度の反省点と来年度の抱負についての情報を，自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また，自分の書いたものを振り返り，改善点を見出している。	a: 定期考査テスト b: 定期考査･パフォーマンス課題 c: パフォーマンス課題･ポートフォリオ
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度